



栃木県立那須高等学校

全
日
制



所在地 〒329-3215 那須郡那須町寺子乙3932-48
電話 0287-72-0075
FAX 0287-72-6325
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/nasu/nc2/>
創立 昭和35年
課程 全日制課程
設置学科 普通科・リゾート観光
生徒数 282名
(男子153名 女子129名)(令和3年5月1日現在)
利用交通機関 JR黒田原駅から徒歩20分

I 学校の概要

1 学校教育目標

自ら学び、健康で礼儀正しく、社会に貢献できる人間を育成する。

2 目指す学校像

- 『さまざまなチャレンジをとおして、新たな可能性を見つけられる学校』
基礎基本の学び直しと特色ある学校行事および部活動等を奨励することにより、確かな学力と健康な心身を備えた「よき社会人」を育てます。
- 『きめ細やかな指導をとおして、夢をはぐくみ実現できる学校』
一人一人に合ったいい学習指導とキャリア教育を推進することにより、目標をもって学び続ける意欲を備えた「よき職業人」を育てます。
- 『地域に根ざした活動をとおして、地元でがんばる力を養える学校』
那須地域を元気にする各種交流活動を推進することにより、社会に貢献できる「よき地域人」を育てます。

3 募集する生徒像

本校の教育目標・目指す学校像を理解し、生活と学習の基礎・基本を身に付けており、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する生徒

- (1) 特別活動や部活動に積極的に参加し、一生懸命取り組める生徒
- (2) 地域の自然と文化を愛し、地域に貢献する意志をもった生徒

4 特色ある教育活動

「地域に根ざした活動をとおして、地元でがんばる力を養える学校」を掲げ、さまざまな活動を展開しています。これまで「地域密着観光プラン」「オオハンゴンソウ駆除活動」「地域連携した授業」など行ってきました。令和2年度より学校運営協議会の成果から、高校魅力化コーディネーターが在籍しています。これまでの地域活動をさらに充実させるため、「総合的な探究の時間」において地域の方々と協力して「よき社会人」「よき職業人」「よき地域人」を目指した人材育成を目指します。

5 沿革

昭和24年	栃木県立那須農業高等学校黒田原分校として設立 定時制課程、農業科、農村家庭科(定員20名)
昭和31年	商業科設置(定員20名)
昭和35年	栃木県立那須高等学校開校
昭和37年	第1学年より全日制課程に変更 普通科(100名)、商業科(50名)、農業科(30名)
昭和38年	農業科募集停止
昭和39年	普通科学級増普通科(150名)、商業科(50名)
昭和47年	普通科学級増普通科(180名)、商業科(45名)
平成10年	リゾート観光科設置、商業科募集停止 普通科(160名)、リゾート観光科(40名)
平成13年	普通科学級減普通科(120名)、リゾート観光科(40名)
令和元年	学校運営協議会の設置(コミュニティスクール開始)
令和2年	小規模特例校指定、単位制カリキュラムの導入 普通科(80名)、リゾート観光科(40名)

Ⅱ 学校、学科、コース、教育課程等の特色

1 本校教育の特徴

小規模、少人数の本校では、常に生徒の持つ特性を最大限に引き出す教育をめざしています。生徒一人一人を大切にきめ細やかな教育を実践しています。「地域に根ざした活動をとおして、地元でがんばる力を養える学校」を掲げ、諸活動を展開しています。昨年開始した学校運営協議会の成果として、高校魅力化コーディネーターを配置しました。

(1) 普通科について

多様な進路希望に対応するため、国語、数学、英語で基礎から学び直しの科目を設定しています。商業科目や家庭科目を中心にビジネスマナーを学び、多くの資格が取得できます。四年制大学への進学に対応するための科目も設定するなど、きめ細やかな指導を行います。

2年次時には、全員がインターンシップを行い、社会に出てから必要となるビジネスマナーやビジネスの知識・技術を身に付けます。

ア 取得できる資格

実用英語検定、漢字検定、実用数学技能検定、全商簿記実務検定、全商情報処理検定、全商ビジネス文書実務検定、食物調理技術検定、被服製作技術検定、保育技術検定

(2) リゾート観光科について

リゾート観光科では職業的資質を備えた人間形成をめざし、観光科目・商業科目を学習し、社会に出てから必要となるビジネスマナー・専門的知識・技術を習得します。リゾート地域特有の「観光およびスポーツ」に関する知識・技能・マナー等の習得と、リゾート産業の担い手として観光をビジネスとする人材を育成します。

ア 実習

観光関連事業所現場実習、ホテル・旅館実習、販売実習、ゴルフ・テニス・スノーボード実習那須町生涯学習課との連携授業、地域工芸体験など

イ 目標とする資格取得

全商簿記実務検定、全商情報処理検定、全商ビジネス文書実務検定、全商商業経済検定、全商英語検定、全商ビジネスコミュニケーション検定、北関東簿記実務検定、全経電卓計算能力検定



ホテル旅館実習(リゾート観光科)



スノーボード実習(リゾート観光科)



ゴルフ実習(リゾート観光科)

Ⅲ 進路状況

1 令和2（2020）年度卒業生の進路

学 科 名	進 学				職 就			その他
	私立大学	私立短大	専修学校	各種学校	管 内	県 内	県 外	
普 通 科	3	2	22	0	27	17	5	3
リゾート観光科	1	0	4	0	7	6	3	2
合 計	4	2	26	0	34	23	8	5

2 過去3年間のおもな進路

(1) 私立大学

国際医療福祉大学、帝京大学、城西国際大学、城西大学
作新学院大学、明海大学、駿河台大学、日本大学、白鷗大学、宇都宮共和大学
文星芸術大学、作新学院大学、東京通信大学、尚美学園大学

(2) 私立短大

宇都宮文星短期大学、郡山女子大学短期大学部、作新学院大学女子短期大学部
佐野日本大学短期大学部

(3) 専修学校

栃木県立県産業技術専門学校、栃木県産業技術専門校、栃木県農業大学校、栃木県美容専門学校
宇都宮ビジネス電子専門学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校、宇都宮アート＆スポーツ専門学校
国際情報ビジネス専門学校、国際自動車・ビューティー専門学校、日産栃木自動車大学校
那須看護専門学校、国際看護介護保育専門学校晃陽看護学園専門学校、東京リゾート＆スポーツ専門学校
ベルエポック美容専門学校、福島医療専門学校、東北歯科専門学校、ミスパリエステティック専門学校

(4) 就職

自衛官、栃木県警察、日本郵便（株）、（株）東急リゾートサービス、（株）エピナール那須
藤和那須リゾート（株）、（株）ホテルサンバレー、大和リゾート（株）、芦野温泉（株）、藤和那須リゾート（株）
（株）いずみや、（株）鈴屋、ブランヴェール那須、（株）日本ハウス・ホテル＆リゾート、大和リゾート（株）
Royal Hotel、（株）ブリヂストン、那須農業協同組合全業工業（株）、カゴメ（株）、大阪シーリング印刷（株）
（株）ヨークベニマル、白河オリンパス（株）、住友ゴム工業（株）白河工場

Ⅳ 特別活動等の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

1 学校行事

歩行会、芸術鑑賞会（隔年）、修学旅行、バス旅行、インターンシップ、マラソン大会、老人ホーム訪問
保育園児との交流活動、味噌造り実習

2 生徒会活動

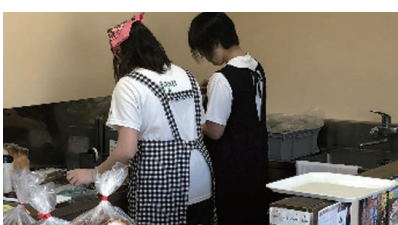
球技大会、那須高祭（隔年）、オオハングウソウ（特定外来生物）駆除活動、予餞会

3 部活動

運動部：サッカー部、ソフトテニス部、バレーボール部、卓球部、野球部、柔道部、バスケットボール部
バドミントン部、剣道部、陸上競技部、ゴルフ部
文化部：美術部、文芸部、茶華道部、音楽部、科学部、J R C 部、商業部

4 那須高校観光プラン

地域密着観光プラン、食品開発（黒田原バーガー・だっばらクッキー）、那須PRソング、那須かるた



インターンシップ



オオハングウソウ駆除活動（特定外来生物）



串人形給付け体験



地域密着観光プラン



地域連携学習



だっばらクッキー

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科	30%程度
リゾート観光科	30%程度

2 出願するための資格要件

【普通科】

次の（１）の要件を満たし、（２）又は（３）のいずれかに該当する者

- （１）中学校で身に付けるべき基本的な生活習慣と基礎的な学力をしっかりと身に付けた者
- （２）中学校で生徒会活動・部活動などに積極的に参加し、３年間一生懸命取り組んだ者で、本校入学後もこれらの活動に積極的に参加する意志のある者
- （３）中学校時代に地域のボランティア活動などに３年間貢献し、将来、地域の振興に結びつく活動に積極的に参加する意志のある者

【リゾート観光科】

次の（１）から（３）までの全てに該当する者

- （１）リゾート観光科の特色を理解し、中学校で身に付けるべき基本的な生活習慣と基礎的な学力をしっかりと身に付けた者
- （２）資格取得、実習に興味・関心があり、積極的に参加できる者
- （３）地域の産業に興味・関心を持ち、地域に貢献する意志をもった者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間15分程度
作 文	時間30分 字数400字程度

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計（135点満点）し、段階評価を行う。
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。特に、「行動の記録」は段階評価を行う。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階の審議に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分（特に、「行動の記録」を重視）を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2、3の評価において、評定の合計が優秀または良好な者で、かつその他の評価が、いずれも優秀または良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。